

平成29年度病害虫発生予察指導情報
対象病害虫：アワヨトウ（水稻、野菜・花き等）

平成29年7月19日
鳥取県病害虫防除所

1 情報の内容

7月10～12日よりアワヨトウ成虫の羽化が始まりました。今後、7月下旬頃から次世代の幼虫が発生することが予想されますので、発生状況に注意しましょう。

2 発生状況

- (1) 予察灯（設置場所：琴浦町、光源：60ワット白熱灯）への誘殺が7月10日に確認された。
- (2) 現地から採集した蛹の羽化が7月10日（東伯農業改良普及所調査）、および7月12日（西部農業改良普及所大山支所調査）に確認された。

3 防除上注意すべき事項

(1) 水稻

- ア 幼虫発生初期にあたる7月下旬にはほ場を調査し、幼虫が容易に確認でき、かつ黒化した幼虫の割合が高い場合は、早急に防除所もしくは最寄りの普及所に相談する。
- イ 第2世代幼虫の加害は、成虫が稲株に直接産卵することによって、ほ場内から発生し始める場合もある。したがって、幼虫の調査は、成虫が好んで産卵する場所（周囲より葉色が濃く、生育量が旺盛なほ場、ほ場内で最も葉色が濃い地点等）を中心に行う。

(2) 野菜・花き

- ア スイートコーンで幼虫の発生が認められる場合は、トレボン乳剤（1000倍、収穫7日前まで、4回以内）、アグロスリン乳剤（1000倍、収穫7日前まで、3回以内）またはゲットアウト WDG（3000倍、収穫7日前まで、3回以内）により防除を行う。
- イ その他の野菜・花きで発生が認められる場合は、農薬の使用基準に従い、ヨトウムシ類に適用のある薬剤により防除を行う。

4 参考



図1 アワヨトウ成虫



図2 アワヨトウ幼虫（黒化型）